

電気火災をゼロに コンセントチェック

背景(課題・ニーズ)

コンピュータのデータ消去と解体作業を行う当社では、トラッキング現象（コンセントにプラグを差し込んだままの状態であがたまり、その埃が湿気を帯びて、発熱・発火に至る）やオーバーロード（つなぎすぎ、電源容量オーバーによる過電流）などによる火災事故の危険性があります。当社では**毎年8月にコンセントチェック**を実施し、**コンセントによる火災を予防**しています。

取組内容

【コンセントチェック】
毎年8月の電気使用安全月間に合わせて、**当社全事業所のすべてのコンセント**について、安全を確かめています。
プラグ（焦げ跡、発熱、アース等）、コンセント（ひび、変形、埃等）、電気機器の確認（異音、振動、発熱等）の確認を実施。
毎年、数か所で異常が発見され、すぐに改善されます。

1. 伝達事項
(2) 事務局 (今後の予定)

コンセントチェック 2025

※使用切った拠点の方はご連絡ください。送付します。

【参考】コンセントチェック
絶縁キャップ取付手順

プラグのアース線は、コンセントアース端子に接続している。

プラグの未使用アース線には、絶縁チューブを用いている。

養生用テープでアース端子を保護
前電圧と不燃性に問題があります。

保護なし。除外！！

4. 拠点情報 別紙 (葛飾RPC) 1/2

葛飾RPC(Hさん)
コンセントチェックで、1号の2箇所の問題を確認し、改善作業を実施した。

① 1F FM(フォーカスマテリアル)置き場

修正前

修正後

やってみての効果

2017年に取り組み開始以来、全国事業所（13か所）でコンセントに起因する事故はゼロ件を維持しています。
従業員の5S活動の意識向上にも繋がっています。

今後の目標・展望

今後も毎年1回、コンセントチェックを継続していきます。またこのレポートを通して、会員企業様にこの取り組みが広がることを期待しております。